

水稻栽培に 酸素供給剤

✓
健苗育成

✓
高温対策

このような **課題・リスク** を解決することができます!

1

種子は発芽阻害物質を
含むため、休眠状態に。

発芽勢改善

過酸化水素は発芽抑制物質を
失活させるため、種子を休眠状
態から起こすができる!

2

省スペースによる
生育環境で
育苗にムラが発生

健苗育成

酸素を供給することで低温化での
根の活力低下・過湿による根いたみ
を軽減。養水分吸収を健全化するこ
とにより育苗ムラを予防。

3

高温期の根痛み、
水田での酸素欠乏、
嫌気条件によるメタンや
硫化水素ガスが発生

ガス害対策

酸素を補うことにより有機物の
分解を促進、嫌気条件を改善し、
ガス発生による生育不良を予防。

酸素発生仕組み

ネオカルオキソ、ネハリエース

過酸化カルシウムを成分とした粒剤で、土壌中の水分と反応することで持続的(1~3ヶ月)に
酸素を発生しながら消石灰となり、最終的には炭酸カルシウムとなります。



過酸化カルシウム



土壌中の水



酸素



消石灰



M・O・X

過酸化水素水を成分とした液剤で、土壌中の金属や有機物に触れて分解し、
酸素を短期間に放出して、最終的には水になります。



過酸化水素水

+

土壌中の金属類



酸素



+

水



粒剤



液剤

M・O・Xの育苗に対する施用効果

処理時期 出芽時、出芽後5日目、出芽後10日目(計3回)

区名	苗令 (枚)	苗丈 (cm)	葉身長 (cm)		生体重 (g/100本)		乾物重 (g/100本)		R/T [※] (%)	総根長 (cm)
			第1	第2	地上部	地下部	地上部	地下部		
標準区	2.3	11.3	1.6	6.4	6.11	2.80	1.26	0.34	27.0	17.0
M・O・X	2.2	11.3	1.6	6.5	6.53	3.70	1.32	0.51	38.6	19.7

※R/T(%)=(地下部乾物重÷地上部乾物重)×100

ガス害対策の仕組み

- ① 酸素は有害ガスを発生させずに有機物を分解します。
- ② 有害ガスは土壌中の酸素が欠乏することで発生しますが、酸素を供給することで環境が改善され、有害ガスの発生抑制が期待されます。
- ③ 酸素が硫化水素と反応して無害化することができます。



使用方法

〈目的〉

〈時期〉

発芽勢改善

種子浸漬時

MOX 50倍希釈液に種子を12～24時間浸漬する

健苗育成

出芽時・出芽5日目・出芽10日目

MOX 100倍希釈液を育苗トレー1枚当たり500mL灌注する

根が弱っているとき

MOX 50倍希釈液を育苗トレー1枚当たり500mLずつ3回灌注する

ガス害対策

代かき前

ネオカルオキシ 10a当たり10～20kg施用する

生育期

ネハリエース 10a当たり10～20kg施用する

MOX 10a当たり10kg施用する(水口から流し込む)

荷姿



ネオカルオキシ

ポリ袋/10kg入り



M・O・X

外装:ダンボール 内装:キュービテナー/10kg入り

製品特集ページ



保土谷化学工業株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号

TEL 03-6852-0380 (問合せ専用)

お問い合わせ先: https://www.hodogaya.co.jp/info/cntct_agr/

